明治大学大学院　教養デザイン研究科　特別講義

非核兵器地帯

核兵器廃絶に向かうひとつのステップ

北朝鮮の2回にわたる核実験の強行を受けて、北東アジアでの核兵器をめぐる緊張が高まっている。しかし、広く世界に目を向けると、5つの非核兵器地帯がすでに実現している。

非核兵器地帯とは、

１）核兵器の開発、所有、製造、配備、実験の禁止

２）核保有国に地域への核兵器の使用や使用の威嚇の禁止を求める

３）条約の遵守機構の設置　を地域内の国家間の条約によって約束し、
　それを国際的に認めさせるというものである。

存在する５つの非核兵器地帯の成立の経緯や実情を知ることは、北東アジアの核の問題を考えるための大きなヒントになるだろう。それについて、解説したい。

参考書：梅林宏道『非核兵器地帯』（岩波書店、2011年）

日 時：６月７日（金）３時限目13:00～14:30
会 場：和泉図書館ホール（１階）
講 師：中村孔一　明治大学名誉教授
理学博士（東京大学・物理学専攻）

コーディネーター：山泉　進（法学部教授）
勝田 忠広（法学部准教授）

予約不要：学部生の受講可
学外の方も受講可能です。事前にお電話ください。
教養デザイン研究科　TEL：03-5300-1529